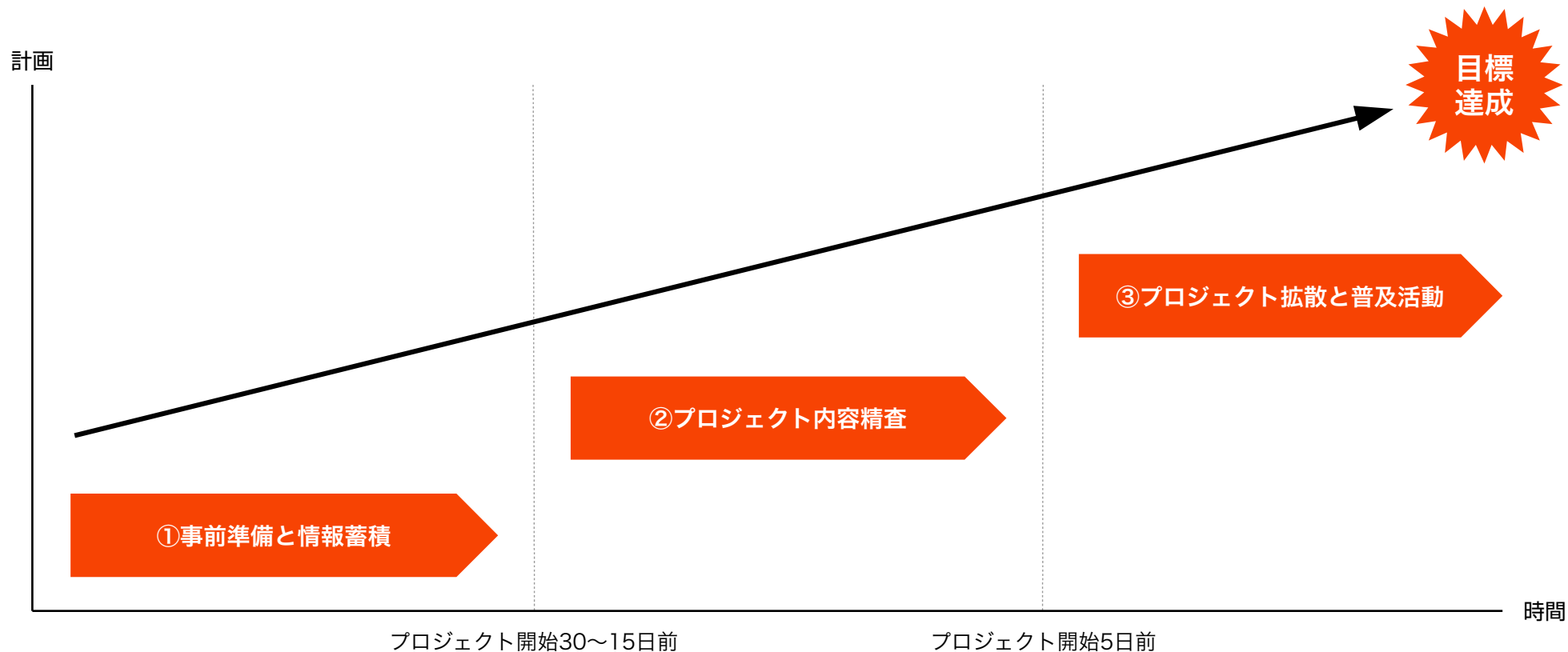


クラウドファンディング「ENj!NE」  
スターターガイド

# クラウドファンディング成功に必要なポイントは3つ

- クラウドファンディングは放っておいても自動的に資金が集まるツールではありません
- 綿密に計画された普及活動が、プロジェクト達成の要因となります



過去に成功したプロジェクトの傾向ポイントを抽出し  
プロジェクト達成の可能性を最大限引き上げるためのノウハウを活用しましょう

## ② プロジェクト内容精査フェーズにおけるチェックポイント

- 一度掲載したプロジェクトの内容は後戻りはできず、大きな変更はできません
- しっかりと作り込まれているプロジェクトかどうかで、支援者の応援度合いが大きく変わります

項目	内容	チェック
タイトル設定と 期間・金額	<ul style="list-style-type: none"><li>文字数は30～40文字。拡散されやすいか、一目見てキャッチーなタイトルか、独自性のあるタイトルになっているか</li><li>期間は45日間前後を推奨。また開催期間中は常に追加でPRができる状態か</li><li>目標金額は、プロジェクトにおいて最低限必要な経費となることを推奨</li></ul>	<input type="checkbox"/>
プロジェクト概要	<ul style="list-style-type: none"><li>画像も交えた絵本のように読みやすく、かつストーリー性を持った文章か</li><li>「誰が・何を・いつ・どこで・なぜ・どのように・いくらで・どのような想いで」の項目がプロジェクト概要の中で触れている、分かりやすい文章になっているか</li><li>なぜクラウドファンディングで実現したいのかの説明が明記されているか</li></ul>	<input type="checkbox"/>
写真・動画の掲載	<ul style="list-style-type: none"><li>プロジェクトオーナー等の人の顔がはっきり分かりやすく映っている写真があるか → 支援者に親近感や信頼性を持ってもらうためにも必要</li><li>動画が掲載されていると支援金が平均114%増える → 可能であれば掲載を推奨</li><li>動画再生時間は2～3分が平均的。オーナー自身の当事者情報の反映を推奨</li></ul>	<input type="checkbox"/>
チケット設定	<ul style="list-style-type: none"><li>3～8種類を推奨。例として「実物、経験や体験、記念品、限定品・コラボ商品、礼状、名前が入る権利、独自性のあるもの、産地限定品、イベント招待」等の権利</li><li>「参加・承認・特別感」のテーマに当てはまるか → プロセスに参加でき、共に創り出していく感覚を味わえる。成果物にクレジットが入る</li><li>非公開のイベントに参加でき、プレミアム感を掻き立てられるか、等</li></ul>	<input type="checkbox"/>

# ① 事前準備と情報蓄積フェーズにおけるチェックポイント



- 成功のためには、初速をつけて「人気のあるプロジェクト」と印象付ける必要があります
- 最初の1週間で25%の費用が集まればプロジェクトの達成確率は5倍になると言われています

項目	内容	チェック
リストの作成	<ul style="list-style-type: none"><li>• プロジェクト開始後に個々に連絡するためのメーリングリストの作成</li><li>• メーリングリストから送る内容は、個々にパーソナライズされた、独自の文章になっているか</li><li>• メール文章の添削をチームの誰かに頼み、適切な内容になっているか確認</li></ul>	<input type="checkbox"/>
支援金の確保	<ul style="list-style-type: none"><li>• 支援の目処が立っている人達を、プロジェクト開始前に一定数確保しておく → 目標金額の1/3を自分の友人・知人で集めるのが理想</li><li>• プロジェクト開始後、支援者一覧に乗せてもOKという了承も同時に取る</li><li>• その後、支援金を1日いくら集めれば良いか、毎日の行動に落とし込む</li></ul>	<input type="checkbox"/>
プロジェクト チーム編成	<ul style="list-style-type: none"><li>• 運営や営業、フォロー対応など、プロジェクトに必要な役割を設け、分担するチーム体制を構築</li><li>• 4人以上のチームにする（1人だけより平均70%多く資金を集められる）</li><li>• チーム全員のFacebook友達が500人以上、Twitterフォロワー数1,000人以上が理想</li></ul>	<input type="checkbox"/>
SNSアカウント の開設	<ul style="list-style-type: none"><li>• クラウドファンディング用のFacebook・TwitterなどのSNSページの開設、</li><li>• ホームページや個人ブログの開設を行う → Facebookは個人ページとFacebookページの両方を作成する</li><li>• プロジェクト掲載のはじまる30日前から自分のブログやWebサイト、SNSページから情報を公開して</li><li>• 口コミの蓄積を行う</li></ul>	<input type="checkbox"/>

### ③ プロジェクト拡散と普及活動フェーズにおけるチェックポイント



- 達成への強い想いを持ち、培ってきた認知度や信頼、企画力を最大限に発揮しましょう
- 期間中は「支援してください」と恥ずかしながらに伝え続けることが大切です

項目	内容	チェック
活動報告のアップデート	<ul style="list-style-type: none"><li>• 公開初日に掲載するメディアの確保（最低1媒体）。プレスリリース配信の準備</li><li>• 活動を5日以内で更新する。効果は20日以上更新しないプロジェクトの4倍</li><li>• 支援者に対して、感謝のメッセージを伝えるなど誠意ある対応をする</li><li>• 資金調達都合によって更新する、キャンペーンページの準備</li></ul>	<input type="checkbox"/>
ストレッチゴール設定	<ul style="list-style-type: none"><li>• 更に多くの資金を集めるため、上書きゴールの用意で追加支援者を募集する</li><li>• イベント開催やキャンペーン告知などの、中だるみ対策を用意しておく → プロジェクト開始後1週間と終了前5日間の間、2～3週間に支援が鈍る傾向があるため</li></ul>	<input type="checkbox"/>
オフライン活動	<ul style="list-style-type: none"><li>• チラシ配布やイベントの参加・開催をしてプロジェクトが知られる機会をつくる</li><li>• チラシはプロジェクトに関わるような場所やイベント会場、ギャラリーなどで配ると効果大 → 理想はプロジェクト終了まで続ける</li><li>• ネットワークや相性の良いコミュニティをつくるためのイベントに参加</li></ul>	<input type="checkbox"/>
シェア活動	<ul style="list-style-type: none"><li>• FacebookやTwitter等のSNSでプロジェクト内容を周りの人達に拡散してもらう</li><li>• プロジェクトと相性の良い有名人やフォロワー、コミュニティからの拡散を依頼 → 実際高校の同窓会メンバーから多くの拡散が起きて成功した事例もあり</li><li>• インフルエンサーが認知してからの拡散は大きいため、活動は最後まで続ける</li></ul>	<input type="checkbox"/>

## 参考：クラウドファンディング成功事例のスケジュール紹介

- キャンペーンの詳細なスケジュールを用意した上で施策を実施しています
- スタートしてから30日間のキャンペーンの中、継続して施策を行い成功に繋がりました

スケジュール	内容
掲載開始の 5日～3日前	<b>展開準備</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 親しい知人に話し、進捗状況を更新</li><li>• FacebookやTwitterで口コミを蓄積、キャンペーンページの最終版の確定</li><li>• 50%資金調達した時に連絡するブログとニュースサイトをリスト化</li></ul>
掲載開始の 2日前～前日	<b>更新準備</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 10%、25%、50%資金調達した時に更新するキャンペーンページのテンプレートを完成させる</li><li>• キャンペーンの状態を正確に把握する</li><li>• 再び親しい知人にプロジェクトのことを伝える</li></ul>
掲載開始の 当日～3日後	<b>拡散開始</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 事前に支援を募った何人かからの現状報告をFacebookやTwitterに投稿</li><li>• サイトとSNS上で、最初の支援者の人達への感謝をキャンペーンの最新情報として更新</li><li>• 全てのチャンネルのコメント全部に確実に返答しているか確認する</li></ul>
掲載開始の 4日～5日	<b>追加更新</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 口コミを高めるため、特定のチケットを購入した人をタグ付けし、追加キャンペーン写真を更新</li><li>• 現状報告を動画で配信する → 上記のような更新をプロジェクト期間終了まで続ける</li></ul>

約20日間で様々な施策を準備・実施